

デイシ（Deci, E.L.）の認知的評価理論に関する次の文中のア～ウに入る語がいずれも正しいのはどれか。

デイシはパズルを用いた実験によって、内発的動機づけと報酬との関係について検討した。金銭的報酬と社会的報酬（ほめる）、無報酬の3条件の内発的動機づけの高さを比較した結果、金銭的報酬を与えられた被験者は他の条件と比べて内発的動機づけが なることが示された。これを と呼ぶ。

デイシの認知的評価理論によれば、この現象は金銭的報酬によって の程度が低下することに原因があるとされている。

	ア	イ	ウ
1.	高く	アンダーマイニング効果	自己決定
2.	高く	アンダーマイニング効果	随伴性の認知
3.	高く	ピグマリオン効果	随伴性の認知
4.	低く	アンダーマイニング効果	自己決定
5.	低く	ピグマリオン効果	随伴性の認知

正答：4

テイラー（Taylor, F.W.）の科学的管理法に関する記述として妥当なのはどれか。

1. 生産性・効率性は、労働者の誇りなどの情緒的要素や人間関係などの社会的要素の影響を受けるとした。
2. 組織を権力闘争の場として捉え、組織の権力構造が、経営戦略の行方に重要な影響を及ぼすことは避けられないと考えた。
3. 組織を機械のイメージで捉え、生産効率の面から作業行動を分析し、労働者の賃金の支払い方や休憩時間の長さ、照明の明るさなどを設定することを提唱した。
4. 組織を社会や環境の変化に適応して発達する、一つのまとまりを持つ生命体のように捉え、環境に適応していかなければ組織の存続は難しいとした。
5. 組織を集合的情報処理を行うものとして脳のイメージで捉えようとし、外部からもたらされる情報を正確に処理して、的確な判断を下すことが大切であるとした。

正答：3

児童自立支援施設に関する次の記述ア～エのうちには妥当なものが二つある。
それらはどれか。

- ア. 現在の児童自立支援施設の原型となっているのは、石井亮一により設立された感化院である。
- イ. 児童自立支援施設は、都道府県に設置が義務付けられている。
- ウ. 児童自立支援施設には、看護師及び心理療法担当職員の配置が義務付けられている。
- エ. 家庭裁判所の審判に付された少年は、保護処分として児童自立支援施設に送致される場合がある。

- 1. ア, イ
- 2. ア, ウ
- 3. ア, エ
- 4. イ, ウ
- 5. イ, エ

正答：5